

北海道医師会の取組み

医学生・若手医師に関わる事業

医師の就労環境改善事業

女性医師等支援相談窓口事業



平成30年度医療関連事業部事業項目

1. 勤務医への支援

- (1) 勤務医の医師会活動への参加促進
- (2) 勤務医部会の運営
- (3) 勤務医懇談会の開催

2. 医師の就労環境改善・働き方改革等の推進

- (1) 女性医師等支援相談窓口事業の充実
- (2) 医師の仕事と家庭の両立支援
- (3) 医学生、研修医等のサポート事業の推進
- (4) 就労環境改善事業の推進
- (5) 日医および北海道女性医師バンクへの協力
- (6) 日医女性医師支援センター事業への協力
- (7) 北海道医療勤務環境改善支援センターとの連携・協力
- (8) 北海道地域医師連携支援センターとの連携・協力

3. 医療関連専門職種団体への協力と連携

- (1) 医療・福祉関係職能団体等との意見交換会の開催
- (2) 医師事務作業補助者の育成
- (3) 看護職員の養成と確保への支援と協力
- (4) 看護の日・看護週間への支援と協力

4. 医師会立看護職員養成施設への支援と協力

- (1) 医師会立看護職員養成校連絡協議会の開催

医学生・若手医師への取組み(1)

医学生・若手医師キャリア支援検討会

- 道内の医学生ならびに若手医師とキャリアについての意見交換・交流の場、ならびに医師の勤務環境がさらに厳しくなる中、医師の働く環境について考える検討会。
- 「次世代医師のキャリアに必要なスキル、学びたいこと」をテーマにグループディスカッションと、当会主催のキャリアデザインセミナーのアイデア、企画案を検討した。

参加メンバー

医学生・若手医師・
勤務医部会若手医師専門委員・
女性医師等支援相談窓口コーディネーターなど。



北海道医師会主催
**医学生・若手医師
キャリア支援検討会**

平成30年7月15日(日)
14:00~16:00

検討会開始前にお食事を用意します。お食事を希望される方は、12時頃からお席を用意しますので、順次ビューフェスタイルのランチをお召し上がりください。【参加申込みの際、要予約】

於：札幌市中央区南2条西5丁目
ラ・ジェント・ステイ札幌大通2階「Northern Kitchen」

北海道内の医学生・若手医師の方を対象にキャリアについて意見交換・交流を行います。道内の医学生、若手医師はどなたでも参加可能です。
医学生・若手医師同士の交流の場として、キャリアについて考え、話し合い、共有しましょう。
また、医師会主催の「キャリアデザインセミナー」の企画メンバーとしてアイデアも募集します。

たくさんの参加をお待ちしています。
【席に限りがありますので、定員になり次第募集を終了いたします】

※日本医師会JMA-JDN(ジュニアドクターズネットワーク)の若手医師メンバーとの交流、活動紹介等もあります。

お申込み: <https://docs.google.com/forms/d/1wJfMz6dA5dZ2c0e8KqAP-3M1knd1YvCN2D0eW8qz0mKwY320w2y0w/edit>
または、3ka@m.douji.jp宛、氏名、所属、学年・卒後年数・連絡先を添えて申し込んでください。
【問い合わせ先】
北海道医師会：3ka@m.douji.jp 電話：011-231-1726

医学生・若手医師への取組み(2)

医学生・若手医師キャリアデザインセミナー

- 「医学生・若手医師キャリア形成支援検討会」が企画・運営。
- 検討会のメンバーがポスター・チラシを作成。
- 大学や部活のメーリングにより広報活動。
- 当日の司会進行もメンバーである医学生が担当。

**医学生・若手医師
キャリアデザインセミナー**

これからのキャリアを考える
医学生・若手医師が医師の働き方改革のビジョンを知り、学び、年代を超えた交流と、これからの働き方を考える。

2017年
9月3日(日) 13:30-15:30

北海道医師会3階(会議室) 札幌市中央区大通西6丁目
申し込みサイト: <https://goo.gl/forms/oBOeDZuShwLDr1wA2>

第一部 話題提供
13:30~13:50
「働き方改革の背景とディセントワーク」
講師: 林 美枝子先生 (日本医科大学看護学教授)

第二部 グループワーク
13:50~15:30
「働く環境について」

お問い合わせ 北海道医師会事業第三課
TEL 011-231-1726 メール 3ka@m.dou.jp
上記アドレスに氏名・所属・卒後年数・学年を記載してお送りいただくか、裏面の申込書にてお申込みも可です。


**医学生・若手医師
キャリアデザインセミナー**

これからのキャリアを考える

日時: 2月25日(日) 13時30分より
場所: 札幌グランドホテル 東館3階「玉葉」
札幌市中央区北1条西4丁目 TEL 011-261-3311

第一部 話題提供
○臨床医として進化し続けるために
～医師のキャリアデザインヒックパス～
講師: 公立学校共済組合関東中央病院
健康管理センター長 宮尾益理子 先生

第二部 グループワーク 「多様なキャリアを考える」

申し込みはこちら
申し込みサイト: 

主催: 北海道医師会 共催: 日本医師会

**医学生・若手医師
キャリアデザインセミナー**

これからのキャリアを考える

第1部 話題提供
「私のキャリアパス
～グローバル・ヘルスの世界～」

講師: 東京大学大学院医学系研究科
国際保健学専攻 国際保健政策学分野
特任研究員 坂元 晴香 先生

第2部 グループワーク
「キャリアアップの弊害と解決策」

次世代医師の働き方を考える
医学生・若手医師の交流の場
キャリアの悩みを共有

開催日 平成30年10月28日(日) 時間 13:00～15:00
場所 札幌グランドホテル 地下1階「クリスタルホール」
札幌市中央区北1条西4丁目 TEL 011-261-3311

お問い合わせ 北海道医師会 事業第三課
電話: 011-231-1726 メール: 3ka@m.dou.jp

※申し込みサイトよりお申込みいただくか、上記アドレスに氏名・所属・卒後年数・学年を記載してお送りください。
※保育室あり(要予約) ※お申し込みはこちらから!

医学生・若手医師への取組み(3)

医学生・若手医師キャリアデザインセミナーの開催状況

開催日	話題提供のテーマ	参加人数
平成28年 7月24日 (日)	「新専門医制度 — 新たな仕組みと若手医師 —」 日本専門医機構専門研修プログラム評価・認定部門委員 櫻木範明先生 「これからの医療ニーズと北海道の研修体制について」 北海道保健福祉部地域医療推進局医療参事 石井安彦先生	22名
平成29年 2月26日 (日)	「医師のキャリアって何だろう？ 医師にはどんな働き方がありますか？」 北海道大学病院女性医師等就労支援室 特任助教 清水薫子先生	34名
平成29年 9月3日 (日)	「働き方改革の背景とディセント・ワーク」 日本医療大学看護学科教授 林 美枝子先生	33名
平成30年 2月25日 (日)	「臨床医として進化し続けるために～医師のキャリアデザインとイクボス～」 公立学校共済組合関東中央病院健康管理センター長 宮尾益理子先生	50名
平成30年 10月28日 (日)	「私のキャリアパス ～グローバル・ヘルスの世界～」 東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻 国際保健政策学分野 特任研究員 坂元晴香先生	

医師の勤務環境改善に対する取組み(1)

医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、 病院長・管理者等への講習会

～育てる男が、家族を変える。社会が動く。育ボスセミナー

平成30年度は、日本医師会との共催により開催

講習会のテーマ：

「医師の働き方を考える」

経営危機から一転優良病院へと大改革した病院の働き方を加味した好事例と医師事務作業補助者の活用方法の内容。

育てる男が、家族を変える。社会が動く。育ボスセミナー
平成29年度医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、
病院長・管理者等への講習会

参加費無料
平成30年
2月4日(日)
10:30～12:30
会場：北海道医師会館
8階会議室

医師事務作業補助者のフル活用の提案

主催／北海道医師会・北海道医療勤務環境改善支援センター

- 医師事務作業補助者の活用事例
医師からみた医師事務作業補助者の活用による病院組織での効果
講師：岩手県立病院 院長 村松博士 先生
- 勤務医の負担軽減について
岩手県立病院 市立岩手総合病院 看護部長 石川 仁 氏
- 医師事務作業補助者の役割と、経営の質向上について
平塚市立総合病院 医療事務課 課長代理 宮本由美 氏

参加をご希望の方は、下記よりまたは裏面の申込書にてお申し込みください

FAX 011-231-7272 E-mail 3ka@m.douji.jp

申込先：北海道医師会事業第三課
TEL 011-231-1726 札幌市中央区大通西6丁目

平成29年度は「医師事務作業補助者のフル活用の提案」をテーマに、医師事務作業補助者の活動領域の拡大とレベルを向上させる方法についての具体例を紹介・解説する内容で開催した。

平成30年度医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、病院長・管理者等への講習会

医師の働き方を考える
医師一人一人が生産にむかひ能力を十分に発揮できる勤務環境の整備を推進するために…
育てる男が、家族を変える。社会が動く。育ボスセミナー

**第一部 講演「地域に必要とされる病院をめざして
—医療の質と経営の質—ともに向上するために—」**

経営危機からの脱却。
県立病院の経営改善と勤務環境改善

岩手県立中央病院は、かつては累積損益57億円の経営危機に見舞われていました。それが一転、医療・経営の質を大改革し、国内屈指の優良病院へと転じた背景には、望月先生を中心として病院職員が同じ方向を向いた経営努力と徹底したデータ分析の取り組みがありました。

講師紹介
八幡平市立病院事業管理者
岩手県立病院名誉院長
望月 泉 先生

第二部 医師事務作業補助者の活用術
「医師事務作業補助者の採用、配置、技能向上について」
医療法人社団刀圭会法人本部 人事・研修担当
村川理恵子氏(看護師・介護支援専門員)

医療機関により、医師事務作業補助者の業務範囲は異なります。主に、医療文書の代行作成を業務としている医療機関が多いのが現状ですが、医師事務作業補助者ができる業務はそればかりではありません。

セミナー詳細・お申し込み方法

日 時：平成30年10月14日(日) 10時00分～12時00分
場 所：札幌グランドホテル3階「玉葉」
住 所：札幌市中央区北1条西4丁目
参加をご希望の方は、メールまたは裏面の申込書にてお申し込みください。【参加費無料】
※参加費はお送りいたしませんので、直接会場にお越しください
※本講習会は、日医生涯教育制度2単位として算定できます

[お問合せ]北海道医師会 事業第三課 札幌市中央区大通西6丁目
TEL 011-231-1726 メール3ka@m.douji.jp

主催：北海道医師会 共催：日本医師会

医師の勤務環境改善に対する取組み(2)

医師事務作業補助者スキルアップ講座

業務に直結した知識とスキルの取得を目指し、医師の負担軽減を図るための講座です。

講義 医師事務作業補助者に知っておいてほしい病気の話ー症例による治療方法や薬のことー

講師 各診療科の専門の医師

演習 医師事務作業補助者が知っておきたい文書作成スキル

※各種診療録からのサマリー作成演習を行います

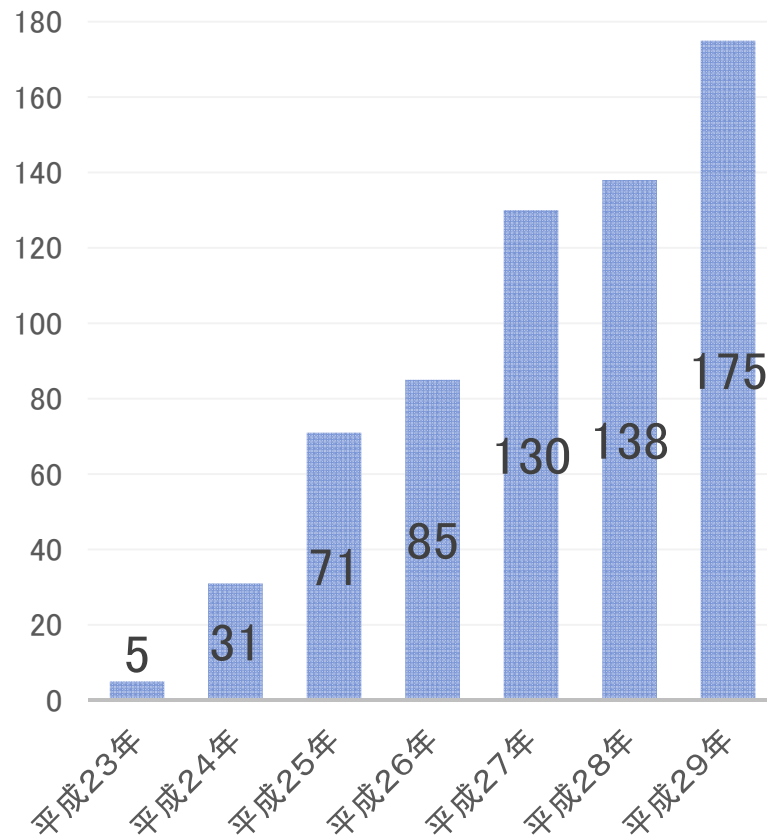
講師 合同会社医業経営科学 業務執行代表 小山田 剛 氏

受講希望回	開催日時	診療科	症例	講師
第1回	9月1日(土) 13:30~17:00	消化器内科	肺炎・胆石症・消化器がん	北海道医師会 伊藤利道 常任理事
第2回	10月20日(土) 13:30~17:00	外科	鼠径ヘルニア・胆石症・乳がん	溪和会江別病院 佐々木彩実 先生
第3回	10月27日(土) 13:30~17:00	循環器内科	糖尿病・慢性腎不全・急性心不全	札幌心臓血管 クリニック 佐藤勝彦 先生
第4回	12月15日(土) 13:30~17:00	整形外科	四肢の骨折・関節症・頸部骨折	北海道医師会 深澤雅則 副会長
第5回	平成31年 1月19日(土) 13:30~17:00	産婦人科	子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍	札幌医科大学 寺本瑞絵 先生
第6回	2月16日(土) 13:30~17:00	脳神経外科	脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷	札幌白石記念病院 高橋 明 先生

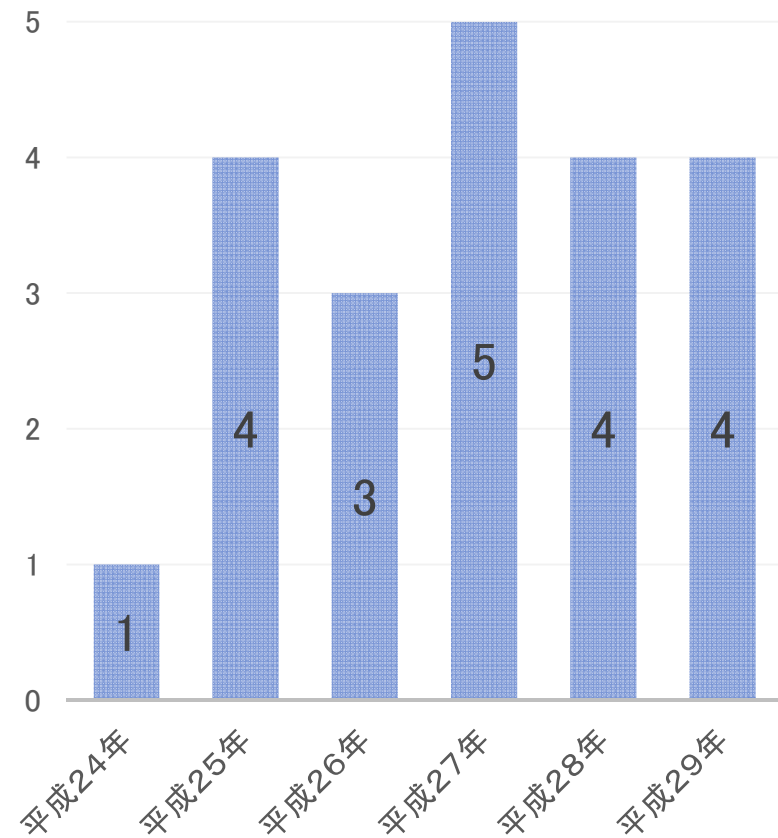
主催／北海道医師会 協力／日本医師事務作業補助研究会北海道支部

相談実績ならびに復職サポート事業受講状況

相談件数635件



受講者21名



(平成23年6月15日開設以降平成30年3月31日現在)

復職サポートの相談ケース(1)

病気療養のため後期研修を中断して、週2日程度のアルバイトを希望し、無料職業紹介事業所に登録。



半日勤務、週2日勤務、通院休暇などの条件を整えて、健診センターなどでのアルバイト勤務ではなく、基幹病院にて後期研修を再開。

復職サポートの相談ケース(2)

前職（警察官）があるので年齢的なことを考え、結婚後はすぐに出産し、後期研修に入らず子育てをしてきた。復職したいと思ったが、スキルが無いため悩みながら、9年間専業主婦をしていた。

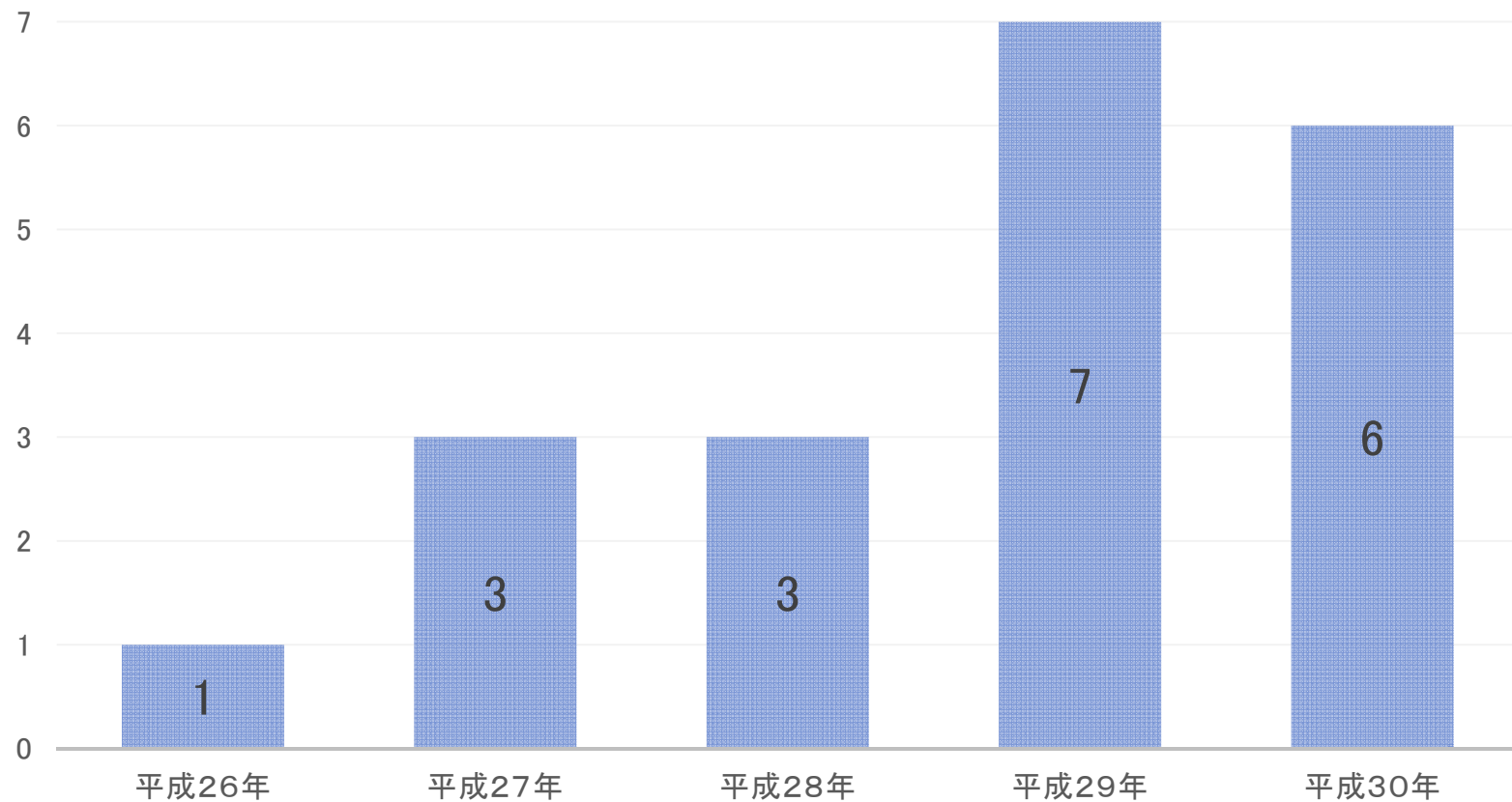


復職研修支援事業を活用して、週3日のパート勤務から開始。修了後、勤務できることに充実感を感じているとの感想があった。

無料職業紹介事業就業成立状況

※求人登録: 49医療機関

就業成立件数: 20件



(平成26年9月1日事業開始以降平成30年9月30日現在)

無料職業紹介事業の相談ケース(1)

実家の家族の介護のため、北海道に戻ることにした。平日連続4日勤務を希望。実家に近い地方都市での勤務を希望するが、求人がなければ札幌市への通勤でも構わない。



郡市医師会と連携して地元の状況を確認し、医師派遣で外来診療を賄っていた基幹病院に常勤医師として就職。

無料職業紹介事業の相談ケース(2)

夫の留学に伴い海外で生活をしているが、取得している専門分野の技術を持続したいので、一時帰国の際に断続的な勤務が可能であれば復職したい。



1ヶ月半の帰国期間内に地方都市の基幹病院で臨時職員として勤務。院内保育所を利用し、2歳半の子どもも同伴で札幌市より通勤。

日医女性医師バンクとの連携

日医女性
医師バンク

- 日本全国、広い範囲での情報収集が可能

顔の見える地域のコーディネート機能を確立する。

- 地元医療機関のきめ細かい情報収集が可能
- 相談者との直接面談対応が可能

地域医師会
相談窓口

地元在住
コーディネーター